

# Creative Net-Solution

ネットワーク展開を軸に飛躍する  
折込広告のソリューションカンパニー

## 第53期事業報告書

平成19年4月1日～平成20年3月31日

JASDAQ

証券コード：7863

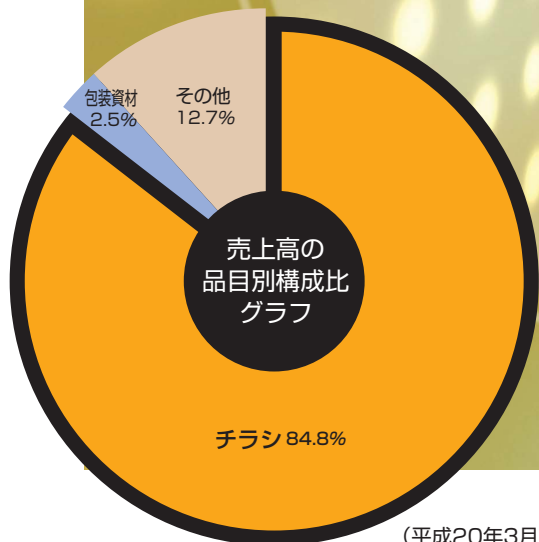
チラシ・POP・袋



株式会社

平賀

時代に向けた新たな挑戦  
New challenge for age



## 株主のみなさまへ



代表取締役社長

平 祭 明 男

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、平素は、格別なるご高配を賜り、誠にありがとうございます。ごぞいます。

ここに、第53期(平成19年4月1日より平成20年3月31日まで)の弊社の業績ならびに事業の概況をご報告するにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

弊社は、平成19年5月に大阪支店を開設することにより、事業エリアを東日本エリアから西日本エリアへ伸張することができました。

新しい事業エリアにおいて、子会社である株式会社イマージュとの融合を図りながら、お客様の宣伝活動の担い手として、販売促進活動そのものをプロデュースする総合企画提案を推進し、紙媒体である新聞折込広告と同時にお客様のホームページに掲載することで、より情報量を付加することができるインターネットチラシ「デジム」を提案し、差別化を図ってまいります。

印刷業界における原材料価格の上昇と企業間競争激化の厳しい経営環境において、どんな時でも状況の変化をいち早く察知し、見失わず挑戦し続ける気持ちを持ち続けようと、当社グループ内において「時代に向けた新たな挑戦」をスローガンとして時代に合った経営理念のもと、西日本エリア拡大へ向けた経営基盤の確立を目指し、全社一丸となって受注拡大に邁進してまいります。

また、利益分配につきましては、安定的な配当を心がけながら、企業体質の強化および将来の利益確保のための配慮、事業の拡大と財務体質の強化に努める所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援とご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成20年6月





# シンプル操作のデジタルチラシ・カタログ制作&更新サービス

デジタルチラシ・カタログ「デジム」は、従来よりチラシやカタログなど幅広く利用されてきた紙媒体をそのままインターネットで公開・閲覧することができるシステムです。



「デジム」は商品の細部まで鮮明に表示する驚きの高画質で、拡大箇所のみ高解像度データを高速表示でき、使いやすさを重視したわかりやすい操作方法です。  
また、ショッピングサイトをお持ちであれば「デジム」との連携により紙面の商品をクリックして直接販売が可能です。

～ネット<sup>で</sup>チラシ<sup>を</sup>閲覧～



既存の印刷物データが有効利用でき、企画段階から印刷物とWebページを同時に作成する事で、宣伝広告費の圧縮に繋がり、さらに紙媒体などの印刷物では実現することが出来ない様々な機能を追加することが出来ます。

「デジム」はメーカーサイトやレシピなどへのリンクを設定することで、様々な情報を発信することもできます。

## C Computer to Plate.

コンピューター トウ プレート、  
すべてがデジタルで美しく。

「CTP」導入以来、フィルムレスという経済性に加え、全国の協力印刷会社へのフィルム送りが、時間を問わず当社webサーバーより転送が可能となり印刷工程の短縮・短納期の実現に絶大な効果をあげております。データの劣化も少く、印刷上がりも良好で各方面から好評を博しております。



Webチラシ連動  
メール配信システム

デジム  
**Digimu**メール

2つのメール配信機能

### 1 チラシメール

Webチラシの更新情報を自動配信します。



※配信前であればいつでも本文の編集が可能です。

チラシ更新情報がパソコン・携帯に届きます。

### 2 店舗メール

各店舗から直接タイムサービスなどの  
お買い得情報を配信する事ができます。



※本部より店舗を選択又は全店に一斉配信して  
頂く事もできます。

登録した店舗からお買い得情報が届きます。

ネット&モバイル

デジム  
**Digimu**プラス

店舗から自由に更新できるWebチラシと  
携帯チラシ

店舗からパソコン・携帯で簡単に更新作業が  
できます。

携帯 画像を撮影してその場で更新

パソコン 管理画面から簡単更新  
パソコン内の画像を添付する事が  
できます。

Webチラシ・携帯チラシ  
同時に更新

更新情報を会員にメールで配信

お客様の運用状況に合わせて必要な  
システムを連携することができます。



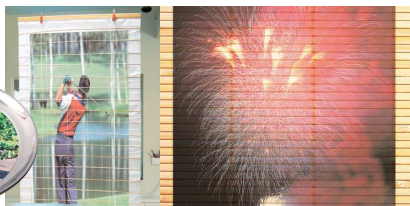
## 特殊印刷

特殊印刷技術の向上  
により厚みがあるもの  
への印刷や、紙以外の  
材質への印刷、大型の  
素材への印刷も需要が  
膨らんでおります。

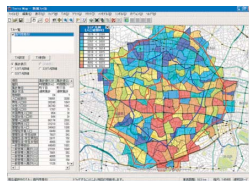
競争激化のオフ輸業  
界に一陣の風を巻き起  
こす可能性を秘めた「特殊  
印刷機」による受注を本  
格化して  
おります。



トレーや、スクリーン、すだれなど意外な商品への  
印刷で広告効果の促進を企画提案します。



## テラマップ



当社では、国勢調査データを元に使った  
エリア分析ソフト「Terra Map」を導入致し  
ました。

このソフトの導入により印刷物と一緒に  
有効なエリア情報を同時にご提供する事が  
可能となりました。

また販促エリアの見直しなどのマーケ  
ティング戦略に情報を利用して頂く事が  
可能となりました。

## 営業概況

---

当期におけるわが国経済は、個人消費に弱さはあるものの、輸出の増加や企業収益の改善を背景とした緩やかな回復基調を保ちつつも原油価格や原材料の高騰、アメリカのサブプライムローン問題に端を発する金融不安などの影響により、我が国を含めた国際的な景気の先行が不透明なまま推移いたしました。

このような経済情勢のもとで広告業界におきましては、インターネット広告は大幅に増加いたしました。また、マスメディア4媒体(新聞、雑誌、ラジオ、テレビ)による広告は若干前年を下回りました。

また、折込広告の出稿動向は5年ぶりに前年を下回りました。

一方、印刷業界におきましては、原油価格高騰の影響から原材料価格が上昇し、企業間競争による受注価格の改善はみられないまま厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況のなか、当社といたしましては、チラシはもとよりチラシ以外の販売促進物の提案により、広告効果のある総合企画提案力を発揮させ、事業展開地域を東日本エリアから西日本エリアまで拡張することで、受注拡大を目指しました。

当社における取扱商品を、顧客の販売促進活動に合わせ、チラシから多品種小ロット印刷、看板・大型ポスター・案内板・ディスプレイ用品の提案、並びに顧客オリジナルのラッピング用品から店舗の飾りなどに使用するのぼり、開店の催しや売出し時の催しに使用する販促グッズ、カタログなど全ての販売促進物を取り揃え、広告効果のある提案を推進いたしました。

また、チラシ制作段階における原稿データを有効利用し、チラシをインターネットで公開・閲覧することで印刷物とWebページを同時作成し、スピーディーかつローコストでのデジタルチラシの提案を行いました。また、企業間競争による受注価格はより一層厳しさを増し、顧客先の企業統合や企業再編などに伴う受注量の低減もありました。

また、製造面におきましては、引き続き徹底した生産効率の向上および材料費の削減に注力し業績の確保に努めて参りました。

## 主要な経営指標等の推移

回次 決算年月	個 別				連 結	
	第50期	第51期	第52期	第53期	第52期	第53期
決 算 年 月	平成17年3月	平成18年3月	平成19年3月	平成20年3月	平成19年3月	平成20年3月
売 上 高 (千円)	7,732,918	7,269,248	8,075,112	7,655,863	8,749,948	9,151,101
経常利益又は経常損失(△)(千円)	207,554	97,438	328,914	3,549	271,375	△113,100
当期純利益又は当期純損失(△)(千円)	105,166	30,137	112,513	△28,012	72,886	△145,057
資 本 金 (千円)	434,319	434,319	434,319	434,319	—	—
発 行 済 株 式 総 数 (株)	4,015,585	4,015,585	4,015,585	4,015,585	—	—
純 資 産 額 (千円)	3,603,064	3,398,379	3,163,528	2,981,290	3,123,901	2,824,619
総 資 産 額 (千円)	7,103,768	7,234,948	7,485,642	6,581,625	7,956,199	6,893,524
1 株 当 たり 純 資 産 額 (円)	963.25	913.26	851.65	802.59	840.98	760.41
1 株 当 たり 配 当 額 (円)	30.00	30.00	30.00	30.00	—	—
1株当たり当期純利益又は当期純損失(△)(円)	21.58	6.50	30.29	△7.54	19.62	△39.05
自 己 資 本 比 率 (%)	50.7	47.0	42.3	45.3	39.3	41.0
自 己 資 本 利 益 率 (%)	2.9	0.9	3.4	0.9	2.2	△4.9
株 価 収 益 率 (倍)	38.5	121.5	26.5	—	40.9	—
配 当 性 向 (%)	139.02	461.68	99.04	—	152.9	—
営業活動によるキャッシュ・フロー(千円)	△44,809	303,889	—	—	66,364	△700,937
投資活動によるキャッシュ・フロー(千円)	△293,030	△42,417	—	—	△323,937	75,366
財務活動によるキャッシュ・フロー(千円)	△427,229	8,556	—	—	303,603	△150,233
現金及び現金同等物の期末残高(千円)	1,094,911	1,364,926	—	—	1,410,949	634,995
従 業 員 数 (人)〔ほか、臨時雇用者数〕	248〔48〕	259〔46〕	265〔39〕	277〔42〕	362〔48〕	375〔51〕

(注)1.売上高には、消費税等は含まれておりません。

2.従業員数の〔 〕内は、外書で臨時雇用者数(最近一年間における平均雇用人数を1人1日8時間で換算し算出)を記載しております。

3.従業員数は、就業人員数を記載しております。

4.第52期より連結財務諸表を作成しておりますので、個別の営業活動によるキャッシュ・フロー、投資活動によるキャッシュ・フロー、財務活動によるキャッシュ・フローおよび現金及び現金同等物の期末残高については記載しておりません。



## 貸借対照表 (平成20年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>流 動 資 産</b>	<b>3,236,207</b>	<b>流 動 負 債</b>	<b>2,409,882</b>
現金及び預金	495,878	支 払 手 形	617,236
受 取 手 形	11,626	買 掛 金	481,764
売 掛 金	1,287,084	短 期 借 入 金	950,000
有 価 証 券	16,768	1年以内返済予定長期借入金	80,400
製 品	15,835	未 払 金	119,442
原 材 料	958,249	未 払 費 用	48,632
仕 掛 品	70,171	預 り 金	21,069
貯 蔵 品	13,958	賞 与 引 当 金	88,000
前 払 費 用	8,866	そ の 他	3,337
繰 延 税 金 資 産	78,151	<b>固 定 負 債</b>	<b>1,190,453</b>
未 収 入 金	180,800	社 債	350,000
未 収 還 付 法 人 税 等	85,401	長 期 借 入 金	199,000
そ の 他	14,294	退 職 給 付 引 当 金	421,427
貸 倒 引 当 金	△880	役 員 退 職 慰 勞 引 当 金	126,775
<b>固 定 資 産</b>	<b>3,345,418</b>	再 評 価 に 係 る 繰 延 税 金 負 債	93,249
<b>有 形 固 定 資 産</b>	<b>1,459,152</b>	<b>負 債 合 計</b>	<b>3,600,335</b>
建 物	438,016	<b>純 資 産 の 部</b>	
構 築 物	21,379	株 主 資 本	3,511,051
機 械 及 び 装 置	187,291	資 本 金	434,319
工 具 器 具 及 び 備 品	23,296	資 本 剰 余 金	425,177
土 地	789,169	資 本 準 備 金	425,177
<b>無 形 固 定 資 産</b>	<b>35,090</b>	利 益 剰 余 金	2,898,374
ソ フ ト ウ エ ア	35,090	利 益 準 備 金	94,313
<b>投 資 そ の 他 の 資 産</b>	<b>1,851,176</b>	そ の 他 利 益 剰 余 金	2,804,060
投 資 有 価 証 券	577,209	別 途 積 立 金	2,830,000
関 係 会 社 株 式	656,005	繰 越 利 益 剰 余 金	△25,939
長 期 貸 付 金	269	<b>自 己 株 式</b>	<b>△246,820</b>
従 業 員 貸 付 金	11,555	評 価 ・ 換 算 差 額 等	△529,761
更 生 債 権 等	5,396	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	32,026
長 期 前 払 費 用	27,759	土 地 再 評 価 差 額 金	△561,787
繰 延 税 金 資 産	290,049	<b>純 資 産 合 計</b>	<b>2,981,290</b>
投 資 不 動 産	66,883	負 債 及 び 純 資 産 合 計	6,581,625
保 険 積 立 金	194,414		
そ の 他	27,035		
貸 倒 引 当 金	△5,403		
<b>資 産 合 計</b>	<b>6,581,625</b>		

## 損益計算書 (平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額	
<b>売 上 高</b>		<b>7,655,863</b>
売 上 原 価		6,256,292
売 上 総 利 益		1,399,570
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		1,416,683
<b>営 業 損 失</b>		<b>17,113</b>
営 業 外 収 益		
受 取 利 息 及 び 配 当 金	18,109	
そ の 他	32,046	50,156
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	23,130	
そ の 他	6,363	29,493
<b>経 常 利 益</b>		<b>3,549</b>
特 別 利 益		
投 資 有 価 証 券 売 却 益	12,302	
保 険 金 収 入	27,657	
貸 倒 引 当 金 戻 入	342	40,302
特 別 損 失		
固 定 資 産 売 却 損	2,413	
投 資 有 価 証 券 評 価 損	811	3,224
<b>税 引 前 当 期 純 利 益</b>		<b>40,627</b>
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	3,263	
法 人 税 等 調 整 額	65,377	68,640
<b>当 期 純 損 失</b>		<b>28,012</b>



## 株主資本等変動計算書 (平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(単位：千円)

	株 主 資 本								株主資本 合 計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本 合 計		
		資本準備金	資本剰余金 合 計	利益準備金	その他利益剰余金					利益剰余金 合 計
					別途積立金	繰越利益 剰余金				
前期末残高	434,319	425,177	425,177	94,313	2,830,000	113,511	3,037,824	△246,820	3,650,501	
当期変動額										
剰余金の配当	-	-	-	-	-	△111,437	△111,437	-	△111,437	
当期純損失	-	-	-	-	-	△28,012	△28,012	-	△28,012	
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	-	-	-	-	-	-	-	-		
当期変動額合計	-	-	-	-	-	△139,450	△139,450	-	△139,450	
当期末残高	434,319	425,177	425,177	94,313	2,830,000	△25,939	2,898,374	△246,820	3,511,051	

(単位：千円)

	評価・換算差額等			純 資 産 合 計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価差額金	評価・換算差額等 合 計	
前期末残高	74,814	△561,787	△486,973	3,163,528
当期変動額				
剰余金の配当	-	-	-	△111,437
当期純損失	-	-	-	△28,012
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△42,787	-	△42,787	△42,787
当期変動額合計	△42,787	-	△42,787	△182,238
当期末残高	32,026	△561,787	△529,761	2,981,290

## 売上高

(単位：千円)

平成16年3月期	7,648,554
平成17年3月期	7,732,918
平成18年3月期	7,269,248
平成19年3月期	8,075,112
平成20年3月期	7,655,863
	6,000,000 7,000,000 8,000,000

## 経常利益

(単位：千円)

平成16年3月期	266,358
平成17年3月期	207,554
平成18年3月期	97,438
平成19年3月期	328,914
平成20年3月期	3,549
	100,000 200,000 300,000

## 当期純利益又は当期純損失

(単位：千円)

平成16年3月期	132,212
平成17年3月期	105,166
平成18年3月期	30,137
平成19年3月期	112,513
平成20年3月期	△28,012
	△50,000 0 50,000 100,000 150,000

## 1株当たり純資産額

(単位：円)

平成16年3月期	968.44
平成17年3月期	963.25
平成18年3月期	913.26
平成19年3月期	851.65
平成20年3月期	802.59
	800 900 1,000

## 1株当たり当期純利益又は当期純損失

(単位：円)

平成15年3月期	28.10
平成16年3月期	21.58
平成17年3月期	6.50
平成18年3月期	30.29
平成19年3月期	△7.54
	0 10 20 30 40

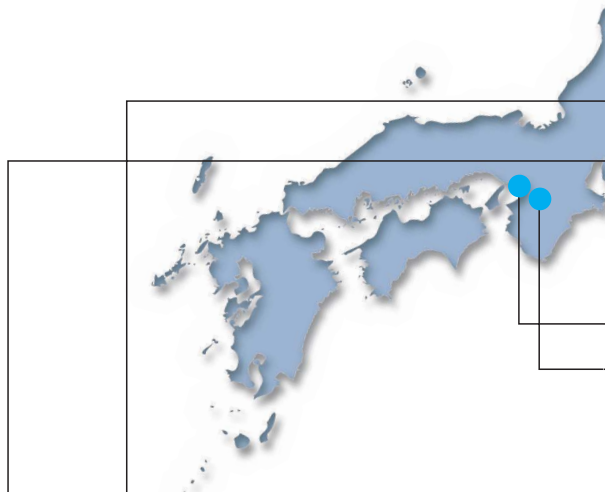
# 会社概要 (平成20年6月26日現在)

商号	株式会社 平賀
本社	〒176-0012 東京都練馬区豊玉北3丁目3番10号
本業	〒176-0012 東京都練馬区豊玉北3丁目2番5号
	電話 03-3991-4541
設立	1956年(昭和31年)1月31日
資本金	434,319,944円
事業内容	折込広告、DM、各種ショッピングバッグ、包装紙、POP等の製造販売
取締役及び監査役	
代表取締役社長	平賀 明男
専務取締役	平賀 治郎
常務取締役	中村 則丈
取締役	木下 昭三
取締役	柴田 憲一
取締役	平賀 順二
常勤監査役	渡辺 弘光
監査役	鈴木 博司

営業拠点	
株式会社平賀	本社 東京都練馬区豊玉北3丁目2番5号
第二ビル	東京都練馬区豊玉北3丁目3番10号
第三ビル	東京都練馬区豊玉北3丁目20番2号
高崎支店	群馬県高崎市上中居町51番地-1 エスト900ビル302
仙台支店	宮城県仙台市青葉区二日町7番14号 二日町大友ビル3F
大阪支店	大阪市北区松ヶ枝町6番3号 第10田淵ビル6F
埼玉工場	埼玉県新座市本多1丁目13番9号

## 株式会社イマージュ(子会社)

本社	大阪市天王寺区空堀町3番9号
東京営業所	東京都台東区東上野5丁目1番8号 新下谷ビル7F
札幌営業所	札幌市中央区北2条東7丁目80番地27号 ツーセブンビル1F
和歌山工場	和歌山県日高郡日高川町江川6番1号



本社ビル

第二ビル：別館

第三ビル：デジタル館



埼玉工場

## 株主メモ

決算期  
定時株主総会  
配当金受領株主確定日  
基準日

毎年3月31日

6月下旬

3月31日中間配当金の支払を行う時は9月30日

3月31日

その他必要ある場合は予め公告して定めます。

1単元の株式数  
株主名簿管理人

1,000株

大阪市中央区北浜4丁目5番33号

住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所

東京都千代田区丸の内1丁目4番4号

住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物の送付先)  
及び連絡先)

〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10

住友信託銀行株式会社 証券代行部

(住所変更等用紙のご請求) ☎0120-175-417

(その他のご照会) ☎0120-176-417

(インターネットホームページURL)

<http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

同取次所  
公告の方法

住友信託銀行株式会社全国本支店

当社のホームページに掲載いたします。

<<http://ir.pp-hiraga.co.jp/>>



高崎支店(エスト900ビル302)



仙台支店(大友ビル3F)



大阪支店(第10田淵ビル6F)



イマージュ本社



イマージュ工場



株式会社 平賀

Since 1956